

平成 3 0 年

区民委員会会議録

と き 平成30年5月14日

品 川 区 議 会

平成30年 品川区議会区民委員会

日 時 平成30年 5月14日（月） 午後 1時00分～午後 1時44分

場 所 品川区議会 議会棟 5階 第3委員会室

出席委員 委員長 本多 健 信 君 副委員長 塚本 よしひろ 君
委員 渡 辺 裕 一 君 委員 中 塚 亮 君
委員 藤 原 正 則 君 委員 田 中 さやか 君

欠席委員 委員 木 村 けんご 君

出席説明員 堀 越 地 域 振 興 部 長 伊崎参事（地域活動課長事務取扱）
遠藤協働・国際担当課長 菅生活安全担当課長
提坂戸籍住民課長 山崎商業・ものづくり課長
安藤文化スポーツ振興部長 立川文化観光課長
池田スポーツ推進課長 辻オリンピック・パラリンピック準備課長

○午後1時00分開会

○本多委員長

ただいまから区民委員会を開会いたします。

本日は、お手元に配付の審査・調査予定表のとおり、報告事項、その他と進めてまいります。

なお、木村委員より本日欠席の旨の申し出がありましたので、ご報告いたします。

本日も効率的な委員会運営にご協力をよろしくお願いいたします。

1 報告事項

(1) 品川区・山北町交流30周年記念事業について

○本多委員長

初めに、予定表1の報告事項を聴取いたします。

(1)品川区・山北町交流30周年記念事業についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者よりご説明願います。

○伊崎地域活動課長

それでは私から、品川区・山北町交流30周年記念事業について、ご報告申し上げます。

まず、事業の概要でございますが、本年度は品川区・山北町との交流30周年に当たります。そのため、記念事業を計画したものです。

山北町の健康づくり推進事業である森林セラピー体験に品川区民が参加しまして、区民の方に山北町の水と緑と四季を感じていただくとともに、新たな山北町民の方とのふれあい交流を促進したいと考えております。

また、区民の方に対しましては、森林セラピーを体験することで、日ごろの心身のリフレッシュをしていただき、未病の防止につなげていただければと考えております。

なお、第1回目の実施は、山北町との交流施設ひだまりの里で交流30周年記念式典を並行して行うこととしております。

「2.事業内容」でございます。森林セラピー体験の日帰りツアーとして、日程といたしまして3日間を考えております。こちらはそれぞれ別の募集になります。細かい日程は書いてあるとおりで、日程としましては、1回目が6月24日の日曜日、こちらは募集を開始しているところでございます。参加定員はいずれも25名。参加費は大人が5,000円、小学生以下が3,000円としております。

予算額につきましては、運営委託費として176万円の予算でございます。

第1回目の募集方法でございますが、ホームページに掲載をしましたほか、広報しながわ5月1日号でご案内をしております。また、しなメールやツイッター、しながわパパママ応援サイト等でも配信し、チラシの作成もしているところでございます。

○本多委員長

説明が終わりました。

本件に関しまして、ご質疑等ございましたら、ご発言願います。

○中塚委員

山北町との交流ということで、今後も続けていただきたいと思っております。

私の勘違いかもしれませんが、山北なのか、早川なのか、事業の形や仕組みについて、最近変わったような記憶があるのですが、今後、この交流事業がどういうふうに進められていくのかをご説明

いただきたいと思います。

○伊崎地域活動課長

お尋ねは、事業の仕組みや形。

○中塚委員

早川か山北が変わったみたいなことを。

○伊崎地域活動課長

山北、早川ともに協定を結びまして、ふるさと交流、ふれあい交流を進めておりますが、その前提と
いうか、基本的な仕組みで特に大きく変わったところはございません。

変更点といたしましては、早川のほうなのですけれども、施設補助につきまして、これまで品川区の
窓口においていただいて申請書を書いていただくということだったのですが、直接施設に行つて品川区
民という証明書を出していただくことで割引が受けられるという形に変更しました。区民の方の負担を
少し減らしたと。区民の方が1回区役所に来なくても、直接利用予約で、直接現地での確認で済むよう
にしたというところは変更点としてあります。

○中塚委員

ありがとうございました。

今後、山北との交流は続けていくお考えだとは思いますが、どういう方向をもって進めてい
くのか、その辺だけ最後に伺いたいと思います。

○伊崎地域活動課長

ひだまりの里を拠点とした山北町との交流は、平成8年から行つております。それで、この間、品川
区と山北町の経費面での負担の見直しを進めておりまして、ひだまりの里を山北と品川と両方の区民、
町民が使うということで、今まで品川区の負担が非常に大きかったところを、半々で運営費とか土地の
利用料の負担をしていこうというところで、長い間かけて調整を進めてきています。

運営費については既に同じ負担になっているのですが、土地の利用料、あちらは借地で地元の方から
お借りしていますので、土地の利用料につきましても、3年間かけまして半々の負担になるようにとい
うことで、今ちょうどその過渡期でございます。

ですので、お互いが同じ負担をというところで、同じ立場で交流を続けていこうというところで、今、
いろいろと事業についても、より活性化できないかというところで、話し合っているところでございま
す。

○本多委員長

ほかによろしいですか。

○藤原委員

事業目的だと思うのですが、森林セラピーを体験することで未病の防止につながるというのは、
これは医療的根拠というか科学的根拠というか、そういうことは把握されているのか教えていただきた
いのと、あと、この予算額なのですが、これは森林セラピー体験の運営委託費に交流30周年記
念式典のも入っているのか、この辺の予算を教えてください。

○伊崎地域活動課長

未病の防止に関しましては、国が健康・医療戦略の中で、未病の防止という言葉そのものは使ってい
ないのですが、病気の予防につながるようなさまざまなヘルスケアのサービスについて進めてい
くという方針を出しております、それを受けて神奈川県が未病センターをつくられて、県として取り

組んでいらっしゃいます。それで、神奈川県の一環として、神奈川県の山北町ですので、山北町が森林セラピーを実施すると。そちらの事業に品川区民も一緒に参加させていただくという考え方でございます。

それから、予算でございますけれども、この中には式典の経費も含まれておりまして、30周年記念事業としては12万円の予算ということで、あと事務費等がございますが、森林セラピー体験ツアーの業務委託としては、単体では予算としては163万5,240円ということで予算立てをしているところでございます。

○本多委員長

ほかによろしいでしょうか。

ないようですので、本件を終了いたします。

(2) ユニバーサルスポーツフェスタの開催について

○本多委員長

次に、(2)ユニバーサルスポーツフェスタの開催についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者より説明願います。

○池田スポーツ推進課長

私からは、ユニバーサルスポーツフェスタの開催について、ご説明いたします。

まず、目的でございます。ここにも書いてありますように、障害のある人もない人も、子どもから高齢者までと一緒に楽しめるユニバーサルスポーツフェスタを開催いたしまして、障害者スポーツの普及を図るとともに、区民が「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツ・レクリエーションを楽しむことができる、スポーツを通じた共生社会の実現を目指すことを目的としてございます。

開催の日時でございます。第1回目ですけれども、来月になりますが、6月30日午後1時30分から午後4時30分。会場は戸越体育館を予定してございます。第2回目につきましては、10月ごろを予定しておりますけれども、会場は未定となっております。

主な内容でございます。体育館のアリーナを使いまして、トランポリン、ゴールボール、車椅子スラローム、カローリング、卓球バレー、リズム体操、アキュラシー、ストラックアウトなどを予定してございます。

これについての運営でございますけれども、こちらは品川区スポーツ推進委員会が中心になりまして、地域のスポーツクラブ、例えば荏原B地域スポーツクラブ、スポクラ・しながわなどのご協力を得て、運営を行う予定になってございます。

当日の参加費でございます。こちらは大人も子どもも100円ということで、内容につきましては、保険料込みということでの100円でございます。

予算額でございますけれども、こちらは2回分で38万7,000円ということになってございます。

周知でございますけれども、これは6月のものでもございまして、広報しながわ6月11日号で周知するほかに、統合ポスター、区のホームページでの周知、それから、小・中・義務教育学校、特別支援学校、障害者関係施設等にチラシを配布する予定でございます。

○本多委員長

説明が終わりました。

本件に関しまして、ご質疑等ございましたら、ご発言願います。

○中塚委員

今回、第1回目ということなので、この事業を始めるきっかけや動機について、またその背景についてお伺いしたいと思います。

東京オリンピック・パラリンピックを目前に控えておりますけれども、パラリンピックとこのユニバーサルスポーツフェスタとは、どういう位置関係にあるのか。ぜひしっかり連動して進めていただきたいと思うのですが、そこについて伺いたいと思います。

○池田スポーツ推進課長

こちらのユニバーサルスポーツフェスタでございますけれども、当初は平成27年3月に障害者スポーツ交流会としまして開催したものでございまして、最初の目的としましては、障害のある方とない方、一緒にスポーツをまず楽しもうと。特に障害のある方につきましては、スポーツをする機会がなかなかない、それからスポーツに親しむこともないということでございますので、どこかでやっていただきたいということがございます。

それと、私どもは昭和57年から障害者スポーツということでいろいろな教室をやっているところでございます。毎月第2・第4土曜日には、体育館で障害者スポーツフリー教室をやっております。その中で、障害を持っている方がいろいろとスポーツをやりたいということで、楽しまれているということもございましたので、そういったことを地域の方により広めようということで、スポーツ交流会をスポーツ推進委員が中心となって開催したところでございます。

内容でございますけれども、その当時からパラリンピックの種目である例えばゴールボール、そしてブラインドサッカーといったものを取り入れながら、障害者スポーツを楽しんでいただきまして、近ごろでは、オリンピック・パラリンピックが行われまして、そのときにボッチャというものがかなり人気になりましたので、こちらのボッチャも区民の方に知っていただくということで、これまで細々とやっていたものをさらに広めようということで体育館でやりましたところ、年配の方に参加していただくようなこともございましたので、こういったことで、ユニバーサルスポーツということでいろいろなスポーツを広めていこうということで、やらせていただいているところでございます。

○中塚委員

とても大事なことだなと思っております。障害がある方もない方も、また、年齢や性別を問わず、スポーツを通じて共生社会の実現を広めていくという、この理念をさらに広げていく、そういう契機につながっていったらと思っています。

こういう事業を通じて、特に障害がある方やご高齢の方がスポーツを楽しんだり、また、健康づくりにつなげたりしていくのに何が必要なのか、どんな設備や日常的な取り組みが必要なのか、そういう課題の発見につなげていって、施設整備や日常的な取り組みにつなげていくことがこういうフェスタのきっかけとして、そういう位置づけも大事になってくるのではないかなと思うのです。

なので、こういうフェスタを通じて見つかった障害がある方の視点やご高齢の方の視点を、日常的な品川でのスポーツの事業の発展につなげていただきたいと思っておりますけれども、いかがでしょうかというのが1つです。

具体的に、例えば障害がある方やご高齢の方のお話を伺うと、トイレの話、また、更衣室での着がえの話、さらには、更衣室にもつながるのでしょうかけれども、シャワーを浴びる関係も含めて、さまざまハード的な整備も進めていかないと、またそこを見て、これなら私も参加できるなという思いにつながっていかないと、当事者の参加につながってこないと思うのです。

そういう意味では、こういう課題の抽出や整理を進めるとき、あと、例えば時には医療体制だったり、当日のスタッフの体制も含めて、当事者参加を位置づけていただきたいと思いますので、いかがでしょうか。

最後に、こういうフェスタをやった後の話なのですが、こういう事業が始まっていることを伝えること自体が、私も参加してみようかな、私にも参加できるかなという思いにつながってくると思うのです。品川区、たくさん事業がありますから、その中でこれをPRするというのも、例えば広報にしても物理的な制約があるのかもしれませんが、ぜひ多くの方の参加につながるような企画自体のPRもとても大事ですが、企画が終わった後の周知という視点も大事にいただきたいと思いますけれども、それぞれ3点、いかがでしょうか。

○池田スポーツ推進課長

こちらのユニバーサルスポーツを通じまして、これまで体育館と文化センター等で行わせていただきました。どうしてもハード的な面ということでは、私どもの体育館、それほど大きな体育館がないということもございます。それから今、委員がおっしゃったように、更衣室の面とかシャワーとかという、競技用の障害をお持ちの方用の施設はないかと思っておりますので、こちらについては、私ども、東京都につきまして、城南地区に障害者のスポーツセンターを設置していただきたいということで、区長会を通じてこれまで何度も要請させていただいているところでございます。

また、私どもでもやっていますユニバーサルスポーツフェスタにつきましては、競技用ということではなく、レクリエーションに近い部分のスポーツでございますので、そこで更衣ということでは、汗はかきますけれども、それほど更衣、シャワーということまでのスポーツではなく、皆さんが好きなスポーツを好きな時間楽しんで、好きな場所に移動していただくというようなことで、本当にまずスポーツを楽しんでいただくということを主眼に置いておりますので、そういった意味で、施設的な面では、文化センターでも、今ある戸越体育館でも、十分通用するところでございますので、今後もそういったものを通じて、区民の方、在学される方、勤務される方にスポーツを楽しんでいただければと考えているところでございます。

また、医療体制についてでございますけれども、こちらのユニバーサルスポーツフェスタを開催する場合には、看護師を常に1名配置してございまして、何かございましたら看護師が対処できるような体制をもってこういったフェスタを開いてございますので、特段、これまでも心配をかけたというようなことはございませんので、今後も皆さん十分楽しんでお帰りのような、そういったスポーツフェスタをつくっていききたいと考えているところでございます。

あと最後の事前の周知だけでなく、それ以降についてもということでございますけれども、先日、私どもで懇話会といたしまして、スポーツについての各地域の代表の方のお話し合いがございまして、障害者団体の方がやはりこちらのユニバーサルスポーツフェスタをあまりご存じなかったということ伺いましたので、こういったことの周知は当然のことですけれども、そのほかに、新たに定期的にスポーツ教室を開けるようなことを考えているところでございます。

○中塚委員

今、課長から城南地区にも障害者スポーツセンターの設置を要望されているということで、それはしっかり進めていただきたいと思いますので、私の趣旨は、こういうフェスタを通じて、品川区自身が課題を抽出し、現状の施設もこれからの施設も、障害がある方もない方も一緒にスポーツやレクリエーションや、スポーツに限らず、会場を使えるように進めていく、その視点をこういうフェスタを

通じて課題を整理して、現状の施設にもこれからの施設にも反映していくという、そこが大事だと思うのです。

直接はあれですけれども、施設整備の担当の方とお話しすると、せっかく新しくできた例えば学校だったり地域センターだったり、あとは例えばですけれども、車椅子トイレ1つとっても、入り口と便座の位置が悪くて、ちょっとわかりにくいかもしれませんけれども、入って、車椅子で回転して便座に移動するわけですが、最近の電動車椅子も小さいサイズから大きいサイズまであるので、東京都が示している基準と実態が合わない場合が多々あるのです。

ちょっと長くなって申しわけないけれども、中小企業センターを改修するときに、当事者の方と話し合う機会があって、あそこは便座に対して、正面から乗る場合と、右から乗る場合と、左から乗る場合と、フロアごとに変えていただいたのです。それによって車椅子の方がお手洗いを利用するときに、私はこのフロアが一番使いやすい、私はこのフロアが一番使いやすいというように、いろいろ工夫ができたのです。小さいことを言うと、便座の近くに小さいフックがあれば、例えばポーチを置くことができたりとか、なかなかいわゆる設計上の基準では見当たらない当事者……、今言った当事者というのは車椅子だけの話ですけれども、当事者の方だからこそわかる視点というのがたくさんあるのだと私も学ばせていただきました。

なので、こういうフェスタを通じて、肢体障害も視覚障害も聴覚障害も、さまざまな障害のある方、ひいてはそれが障害のない方にとっても使いやすい施設につながっていただきたいと思うのですけれども、城南地区の整備はもちろんのこと、品川としてもそういう視点を持って進めていただきたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○池田スポーツ推進課長

今、私どもの施設、主に戸越体育館、総合体育館のことだと思うのですけれども、こちらの施設につきましても、昨年、総合体育館が非構造部材の耐震化工事ということでしばらくお休みをさせていただきました。いろいろな工事、例えば、これは健常の方のトイレですけれども、便所の改修も行ったところもございます。また、今年は戸越体育館が非構造部材の耐震化工事ということがございまして、また10月以降にお休みするというので先日の委員会でご報告をさせていただきました。

こういったところで、工事のある際に、こういった改修ができるものにつきましては改修していくということで考えております。

○渡辺委員

今ご説明のあった、今回ユニバーサルスポーツフェスタという企画になる前の、前段の経緯も含めて、恐らく普通のスポーツのフェスタはそれなりにいろいろな競技団体でもやっている。特に障害者の方に参加していただきたいというのが企画者も主催者もみんな思っているところだと思うのです。

障害者団体の方あるいはそういう方に聞くと、やはりきっかけがなかなかない、本当はご家族も含めでもうちょっと参加できる場を求めたりしていて、うまくマッチングができていない。こういう背景があると思うのです。

その中では、この取り組みはすごく有意義なもので、まず前身で、これまでやってきた同種の企画のときに、実際、障害者の方はどれぐらいの人数が参加されていたのか。それと、今回、それを踏まえて、全体の参加者がどれぐらいで、うち障害者の方はどれぐらいが望ましいとか、目標があるかどうか、教えてください。

○池田スポーツ推進課長

実際のところ、まず前身で行ってございましたスポーツ交流会でございます。こちらについては、障害をお持ちの方というのは割と人数が少なかったかと思われる数字でございまして、一番最初にやったときには参加人数はおおよそ60人という数字でございました。

こちらがユニバーサルスポーツ大会、それからユニバーサルスポーツフェスタになったところ、ユニバーサルスポーツ大会、これが昨年11月に行われた際にはおおよそ100人、2月に行われた際には70人ほど参加されました。

そのうち障害をお持ちの方は何人いらっしゃったかといいますと、実をいいますと、障害児の放課後対策で、大田区だか品川区に施設がございまして、そちらに入っているお子さんたちがまとまってユニバーサルスポーツということで、遊びにきて、それにつれて、地域のご年配の方も、昔、障害を持っていたからスポーツができなかったからということで来られた方がいて、そのお友達の方が何人かということで、障害をお持ちということよりも、高齢者の方も多く来られるようになりまして、特に先ほどボッチャを取り入れたというお話をさせていただきましたけれども、リオでもかなり有名になりましたので、ぜひボッチャを入れてということで、ボッチャをしたいという高齢者の方、やはり10人以上の方がということで、だんだんと障害をお持ちの方、高齢者の方が参加をしていただくようなことになっています。

○渡辺委員

すいません、実数の人数は結構です。というのは、これからが大事であって、何かというと、オリンピック・パラリンピックがあるからこそ、これで通常の事業を拡大しようとか加速させよう、多分かわる方も多いのだと思います。

なぜこんな事を聞いたかという、人数は今がこうで、目標はこれから立てるべきなのと、この企画は誰のためといったときに、やはり皆さん、多分かわる方、スポーツ推進委員や地域スポーツの方と、前に同種のときに話したときに、やっぱりそういう方々を支えるという参加の仕方、そこに意気に感じている方が多数いらっしゃると。主役はやはり障害をお持ちの方だと思うのです。その方たちもそうですし、家族の方もやはり体を動かす、運動不足等の解消をしたいというのが常だと思いますので、フェスタはフェスタでいいです。

そうしたら今度、次の質問は、定期的な運動教室とのかかわりというのですか、どっちが先でもいいです。このフェスタに多く参加してもらいたいから、通常の運動教室等からの集まりにするのか、これに初めて参加されたりした方々が、今これは年2回の目標であると。月に何回か、そういった場に行きたいと。それを導く手段であるのか。その辺、通常にある機会との連携をどうお考えか、教えてください。

それと、今お話に出ていた周知のところ、それぞれ特別支援学校等あるのですが、障害者団体、私ども議会としても、各党派もいろいろな団体と関係をですね、政策的なご要望のやりとりなんかもあったりするので、ここはもうちょっと全面に出ても逆にいいのではないかと。それは当事者とご家族だけではなくて、いろいろな情報を逆にお持ちだと思うのです。今は学校を終えたけれども、働いているけれどもどうだとか、そういえばあのお子さんのきっかけづくりとか、もうちょっと障害者団体との連携を事前の準備段階から深めて、単にチラシがあるとかではなくて、何か当日も含めた実行委員会的なものがあれば、関与を深めることで輪が広がるのではないかという思いがあります。

そういう考え方をもとに、障害者団体、品川でいうと7団体あったかと思いますが、そういったところとの連携をどのようにお考えか、教えてください。

○池田スポーツ推進課長

まず、定期的な教室ということでございますけれども、今、私どものところでは、第2・第4土曜日午前中に総合体育館、戸越体育館で障害者フリー教室をやっているところがございます、そちらで運動を楽しむということをやっているところがございますけれども、ただ、定期的にそちらに通えない方もいらっしゃいますので、こういったスポーツ交流会、そしてユニバーサルスポーツフェスタを年2回企画するようになりました。

あともう1つ、先ほど定期的な運動教室を考えているというお話もさせていただきました。今、体育館が戸越体育館、総合体育館ということで、大崎地区、荏原地区でございますので、大井地区に大きな体育館はございませんけれども、1つの競技、例えばフライングディスクとか、そういったものも定期的な形で開いて、こういった定期的に関いてスポーツを楽しむことをわかっていただいた方につきましては、またこういったユニバーサルスポーツフェスタに皆さんともども来ていただいて、ほかの方との交流をより深めていただければということを考えているところでございます。

もう1つ、障害者団体の方と協力してというところでございますが、私どもも、委員おっしゃるとおり、ただ単にPRだけではなく、障害者団体の方にお話をし、より子どもたちでなく成人の方、特に学校を出ると働いている障害をお持ちの方は運動不足になりがちだということがございまして、そういった方にぜひスポーツを、障害をお持ちの方でもできるということを知ってもらって、それ以外に家でもスポーツができるということを知っていただきたいと思いますので、今回も知的障害団体の会長等といろいろとお話をしながら、こういったスポーツフェスタを進めさせていただいているところでございます。

今後もそういった障害者団体の方との協議を行っていくということを考えてございます。

○本多委員長

ほかによろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○本多委員長

ほかにはないので、以上で本件を終了いたします。

2 その他

○本多委員長

次に、予定表2のその他を議題に供します。

まず、正副より1点、ご報告申し上げます。

先月の委員会でご案内しました今期の当委員会の所管事務調査の現況報告につきまして、お手元に配付のとおり、議長に提出いたしますので、ご報告いたします。委員及び理事者の皆様のご協力に、この場をかりて改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

それでは、その他でほかになにかございますか。

○藤原委員

今回、この委員会はこのメンバーでは最後という意味で、どうしてもお伺いしたいのですが、4月に組織改正がありまして、この委員会は大きく2つの部から成り立っていると思っておりますけれども、そこで、文化スポーツ振興部も、私は、オリンピック・パラリンピック、2020年ということで、大事な要素の1つだと思っておりますが、そしてそれに付随して、文化・観光という意味

でも、一体感を持ってやられていることは素晴らしいと思った……、人事のことなので、これはしょうがないというか、こういう流れというのはわかるのですが、その中で、お二人の課長が部をかわってしまったということで、改めてお伺いしたいのは、これからの2020年に迫ったオリンピック・パラリンピック、そしてそれに付随する観光について、担当の課長としてはどういう意気込みでやっていくのか、お伺いしたいのと、それともう1点は、スポーツの課長にお伺いしたいのは、部長は部長で行かれましたけれども、リオに行かれた課長という意味において、やっぱり行かれた経験、体験というのは、すばらしくこれから生きてくると思うのですが、活かしていただくために税金を使ってオリンピック・パラリンピック、リオまで行っていただいたわけですから、それを部でどういうふう活かしていくのかということも含めて、部長はじめ、意気込みというか、思いを、今日最後なのでお伺いしたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○本多委員長

投げかけ2つで、部長に対する見解を問うのと、新しくなられたオリンピック・パラリンピック準備課長と文化観光課長への思いという2つありますので、最初、部長からよろしいですか。すいません、もう1つですね、リオに行かれたスポーツ推進課長ということですよ。

なので、それぞれの課長からいただく前に、部長からよろしいですか。

○安藤文化スポーツ振興部長

私から、この人事異動、組織改正で、文化観光課長とそれからオリンピック・パラリンピック準備課長がかわりました。しかし、2020年を目標にして掲げました我々の組織目標と申しましょうか、そういうものは脈々と生きて、担当課長が変わっても、その目標遂行のために全力を尽くしてやってまいります。

そしてまた、リオの話も出ましたけれども、リオ視察の中身については、私ども、本当に貴重な情報を現地で実際の目で見て、耳で聞いて、体で感じたものを、今、実際に事業として展開をしているところです。

2020年に向けて、非常に楽しみであるところでもございます。

○本多委員長

では、順次、よろしく申し上げます。

○立川文化観光課長

私の所管します文化芸術、また、観光でございますけれども、こちらは2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、機運醸成という意味で、文化芸術、観光については、今、勢いをつけて事業を実施しているところでございます。

ただ、オリンピックが終わりましたも、こうした文化芸術、観光という施策につきましては継続して盛り上げていかなければならないという決意で、これから頑張っていきたいと考えております。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

それでは私から、オリンピック・パラリンピック準備課長に着任しました意気込みを語らせていただきます。

いよいよ2年後にオリンピック・パラリンピックが迫っております。当課では、今までも機運醸成ということで、いろいろな事業、種まきをしてきたところでございます。私の使命というのは、そのまいた種をきちんと実らせるということがまず1つだと思います。それだけではなくて、オリンピックをゴールとするのではなくて、それがスタートとなるようなレガシーを残すことも大切だと認識しており

ます。

スポーツというのは、する人と見る人、それから支える人があって初めて成立すると言われています。また、オリンピックはスポーツの祭典だけではなくて、文化芸術の祭典であると言われておりますので、品川区民がスポーツも文化も芸術も、みんなが楽しんで、そしてその感動を分かち合っ、支え合えるという、そういう品川区をつくっていくのがレガシーの1つかなと思っております。

今回、文化観光課長とオリンピック・パラリンピック準備課長がかわりましたが、スポーツ推進課長もあわせて、部長を中心としてタッグを組んで、きちんとした成果を出せるようなオリンピック・パラリンピックにしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○池田スポーツ推進課長

私からは、部長を中心に、オリンピック・パラリンピック準備課長、それから文化観光課長、その後に、微力ながら、チームワークで2020年を迎え、2020年で終わりではなく、私どものほうで引き続き、スポーツの推進ということが一番の私の本務でございますので、2020年を契機に、さらにスポーツを振興させ、そして地域の方にスポーツをやっていただいて、区民の方のスポーツの実施率をぐっと上げて、スポーツのまち品川となっていただければということが一番の希望でございます。

○本多委員長

よろしいでしょうか。

ほかにその他で。

○田中委員

前回のまもるっち3のことについてなのですけれども、まもるっち3について、今現在の2年生から6年生に対するまもるっち3の展開という質問のときの答弁が、来年度新1年生と新4年生に配布するというのが前段で、途中の答弁の中で、今年も新4年生を対象に電池交換をするということではなく、そのまま新しいまもるっち3に交換したほうがとなっていて、来年度の新4年生を対象としているのか、今年度の新4年生も対象となっているのかということがわかりづらく、区民の方からも議事録を読んだときにどっちなのかなと思ったというお話があったので、確認をさせてください。

○菅生活安全担当課長

まもるっち3につきましては、本年度はこれまでどおり新4年生につきましては電池交換のみを行うということでございます。来年度から、新1年生と新4年生に対しまして配布する予定となっております。

○本多委員長

すいません、改めて、年度を数字でしっかり言っていただきたいと思います。

○菅生活安全担当課長

平成30年度は新1年生のみの配布となります。平成31年度から新1年生と新4年生という計画をしているところでございます。

○田中委員

ありがとうございました。

○本多委員長

ほかにその他でありますか。

ないようですので、以上でその他を終了いたします。

それでは、本日がこのメンバーによる最後の委員会となりますので、正副委員長からご挨拶させてい

たきます。

それでは、塚本副委員長からお願いいたします。

○塚本副委員長

1年間、副委員長としてこの委員会の運営に携わらせていただきました。皆様ご協力いただきまして、まことにありがとうございました。

1年間、非常に安定したといえますか、海でいえば、なぎのような1年間でございましたけれども、穏やかな風というか、そういった雰囲気もありましたが、それはそれとして、出てきた議題はしっかりと委員長の差配のもと、実りある議論ができたのではないかと感じているところでございます。

1年間、本当にご協力ありがとうございました。

○本多委員長

それでは私からご挨拶申し上げます。1年間、いろいろとお世話になりました。委員の皆様、理事者の皆様、書記の皆様、本当にお世話になりました。副委員長には特にお世話になりました。ありがとうございました。

いろいろ活発な委員会、報告事項に対しましても活発な質疑がありましたし、また、所管事務調査が充実できたと思っております。委員から所管事務調査の問題提起もさせていただきましたし、提言等もさせていただいたと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

以上で本日の予定は全て終了いたしました。

これをもちまして区民委員会を閉会いたします。

○午後1時44分閉会